



シンポジウム 中口国境地域：共生への期待と不安

日時：平成24年3月16日（金曜日） 13：00 – 17：30

場所：富山大学経済学部大会議室（経済学部棟7階）

開会挨拶 佐藤 幸男（CEAKS代表）

第一セッション：中口国境地域に見る共生への期待と不安

座長：堀江 典生（富山大学極東地域研究センター）

朱 永浩（環日本海経済研究所）

「中口越境国際複合一貫輸送と物流インフラ整備について—黒龍江省を中心に」

辻 美代（流通科学大学総合政策学部）

「中露国境木材産業の共生・共栄」

堀江 典生（富山大学極東地域研究センター）

「ロシア極東地域農業開発にみる共生の期待と不安」

堀内 賢志（早稲田大学アジア太平洋研究センター）

「ロシア極東開発と国境地域間関係の強化をめぐる政策動向」

討論者：日野みどり（同志社大学グローバル・コミュニケーション学部）

福山秀夫（日本海事センター）

第二セッション：ロシア極東開発の成否を検証する

座長：道上 真有（新潟大学経済学部）

雲 和広（一橋大学経済研究所）

「ロシア極東地域における人口動態と地域開発政策」

武田 友加（一橋大学経済研究所）

「ロシア極東農村の就業と所得」

ベロフ・アンドレイ（福井県立大学経済学部）

「ロシア財政投資政策と極東地域の位置づけについて」

討論者：石川健（島根大学法文学部）

大津定美（神戸大学名誉教授）

全体講評：岩下 明裕（北海道大学スラブ研究センター）

主催：富山大学 東アジア「共生」学創成の学際的融合研究：CEAKS

共催：富山大学極東地域研究センター・一橋大学経済研究所ロシア研究センター

後援：東北大学東北アジア研究センター・島根県立大学北東アジア研究センター

北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界」

お問い合わせ：富山大学極東地域研究センター 堀江研究室 Tel. 076-445-6436 horie (at mark) eco.u-toyama.ac.jp

事前登録なしで参加できます。

このシンポジウムは、平成21-23年度科学研究費補助金基盤研究(B)「ロシア極東再開発の潜在力と限界：中口経済相互依存関係から見る諸課題」（課題番号：21402019）の総括研究成果を含んでいます。

